

平成30年度 雀宮中学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す生徒像含む）

- | | |
|-------------------------|------------|
| 1 心豊かで、思いやりのある生徒の育成（情操） | |
| 2 主体的に学び、考え深い生徒の育成（創造） | |
| 3 からだを鍛えたくましい生徒の育成（健康） | 校是 「純情と進取」 |

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

めざす生徒像	めざす教師像	めざす学校像
思いやりのある生徒	愛情と情熱にあふれる教師	学びあえる学校
主体的に学ぶ生徒	みがきあう教師	共に伸びる学校
心身を鍛える生徒	実践力のある教師	地域と共に歩む学校

3 学校経営の方針（中期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- （1）確かな学力の育成を図り、生徒が自信や志をもち、主体的にいきいきと学べる学校づくりに努める。
- （2）豊かな心、思いやりの心を持って生活し、自分たちの地域を愛する心を育む生徒の育成に努める。
- （3）心身共にたくましい生徒の育成を目指し、健康で安全な学校生活の実現に努める。
- （4）特に配慮が必要な生徒への組織的な指導体制の強化に努める。
- （5）教育公務員としての使命を自覚し、専門職としての資質・能力の向上及び校内業務の効率化に努める。
- （6）信頼される学校・活力ある学校を目指し、家庭、地域社会との連携・協力を深め、創意ある教育活動に努める。

4 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【 学 校 運 営 】

1 プラス思考で動く教職員

- | | |
|---------------------------|-----------------------|
| ア 学年・学校組織を生かした臨機応変な協体制の確立 | イ 専門職としての自己研修の推進 |
| ウ 行動規範の意識化と遵守 | エ プラスワンの発想での建設的な提案と実践 |

○オ 小中一貫教育の推進による地域学校園内小・中学校連携強化

- カ 業務改善の推進による校内業務の効率化と勤務時間の短縮

2 家庭・地域とともに歩む学校

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| ア 情報の積極的な発信と連携 | イ 地域の多様な教育力の活用の推進 |
| ウ 魅力ある学校づくり地域協議会の活動推進 | |

○エ 地域学校園内の小学校との連携による地域行事やボランティア活動への参加啓発

【 学 習 指 導 】

1 夢や希望を語る生徒の育成

- | | |
|---------------------------------------|----------------------------|
| ア 自己を見つめ、自己の生き方の確立をめざしたキャリア教育・進路指導の充実 | |
| イ 一人一人の良さが発揮できる特別活動の実践 | ウ 自己の能力を最大限に発揮できる特別支援教育の推進 |

2 確かな学力の育成

- | | |
|-------------------------------------|----------------------------|
| ア 生徒の側に立った指導の構想と基礎・基本の定着 | イ 学びあいの工夫による思考力・判断力・表現力の育成 |
| ウ チームティーチング、少人数学習等の充実、かがやきルームの活用と充実 | |
| エ 家庭学習の充実と習慣化（家庭学習ノートの活用と確認） | |

【道徳教育（児童生徒指導）】

1 豊かな心の育成

- | | |
|--|--------------------|
| ア 道徳教育に関する指導力向上をめざした研修の実施（「特別の教科 道徳」の理解促進） | |
| イ 豊かな心をはぐくむ読書活動の充実 | |
| ウ SC、MSとの連携を密にした教育相談の充実 | エ 人権感覚を育てる啓発活動の充実 |
| オ 人権感覚を練磨する校内研修の推進 | カ 生徒の情操を育てる校内環境の充実 |

2 規範意識の育成

- | | |
|-----------------------------|---------------------|
| ア 基本的生活習慣を身に付けさせる指導の充実 | イ いじめ、不登校への予防的対応の充実 |
| ウ 生徒の良さを認め、尊重し自尊感情を高める指導の実践 | |

【健康（保健安全・食育）・体力】

1 たくましい体の育成

- | | |
|-----------------------------|-----------------------|
| ア 自ら意欲的に運動に取組み、体力向上を図る指導の充実 | イ 発達段階に応じた保健教育・性教育の充実 |
| ウ 食に関する指導の充実と望ましい食習慣の育成 | エ インフルエンザ予防と健康管理能力の育成 |

5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
学校運営の状況	<p>A 1 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校全体に活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。」 ⇒生徒、保護者の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 豊かな心をはぐくむための読書活動の実施（朝の読書、学校図書館の効果的な環境づくり等）</p> <p>② 生徒の主体的活動の推進（生徒会活動、部活動、学校行事）</p>	B	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答 93.1%、保護者の肯定的回答 95.7%で目標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 全教職員共通理解のもと、生徒を認め、励ます教育を推進して教職員と生徒の温かい人間関係を構築するとともに、生徒会活動や学校行事等において、実行委員を中心とした生徒の主体的な活動を多く取り入れる。 また、ICT化を推進して業務の効率化を図り、教職員が生徒と向き合える時間を確保できるようにする。</p>
	<p>A 2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「教職員は組織の一員として熱心に教育にあたっている」 ⇒生徒、保護者の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 生徒の良さを認め、尊重し、自尊心を高める指導の実践</p> <p>② 一人一授業の実施による指導力の向上</p>	B	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答 96.9%、保護者の肯定的回答 92.4%で目標を上回った。教員・地域住民の肯定的回答はともに100%であった。</p> <p>【次年度の方針】 「生徒一人一人と誠実に真剣に向き合う」スタンスを忘れずに指導にあたるとともに、教職員間で密に連絡を取り合い、生徒に関する情報を確実に共有する。 また、一人一公開授業を実施し、教職員の授業力向上を図る。</p>
	<p>A 3 生徒は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「生徒は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」 ⇒生徒、保護者の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 1学級担当2人制による給食指導の実施</p> <p>② 行動規範の意識化と遵守</p>	B	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答 94.0%、保護者の肯定的回答 96.1%で目標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 今年度同様、今の自分たちに誇りを持たせる指導を行い、自尊心の向上を目指す。 また、生徒の考え・意見を尊重し、自主性から主体性へのステップアップを図れるよう指導していく。</p>

<p>A 4 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」 ⇒生徒・保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 豊かな表現力を支える基礎基本の確実な定着（漢字・計算・英単語力の向上）</p> <p>② TTや習熟度別学習による個に応じた指導の充実</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答 93.4%，保護者の肯定的回答 83.8%で目標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を通して、「思考力・判断力・表現力」の育成を図る。そのため、校内研修を実施して教職員間の共通理解を図るとともに、一人一公開授業に取り組み、授業力の向上に努める。また、生徒一人一人の理解度に応じた指導を充実させるため、授業形態の工夫やチームティーチング、習熟度別学習のより効果的な運用に努めるなどして、基礎・基本の確実な定着を図る。</p>
<p>A 5 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している」 ⇒生徒・保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① いじめ、問題行動の未然防止と早期発見・早期対応</p> <p>② 「人権感覚を育てる啓発活動」の充実</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答 96.5%，保護者の肯定的回答 82.6%で目標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 年度当初から生徒指導だよりや学校ホームページ、保護者会などで、生徒・保護者・地域住民に向けて本校のいじめ対策について積極的に情報を発信していく。 また、いじめゼロ集会など生徒主体のいじめ撲滅に向けた活動を実施していじめ等の未然防止を図り、「信頼される学校づくり」に努める。</p>
<p>A 6 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校の日課、授業、行事などは適切に実施されている」 ⇒教職員、保護者の肯定的回答 95%以上</p>	<p>① 教育課程表にもとづく授業時数の確保</p>	<p>【達成状況】 保護者の肯定的回答は 96.9%で目標を上回ったものの、教職員の肯定的回答は 92.9%であり目標を達成することができなかった。</p> <p>【次年度の方針】 授業をバランスよく実施していけるように、3期の累計時数だけでなく、定期テスト毎の期間で授業時数を確保できているか確認作業を行う。 また、授業時数を確保するため、教員の出張等の際には授業交換などの調整を行うなどして、適正な教育課程の編成・実施に努める。</p>

<p>A 7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校は、学校便りや学校公開などで、積極的に情報を発信、提供している」 ⇒保護者・地域住民の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 情報の積極的な発信と連携</p> <p>② 学校だより、学年・学級だより等の定期的な発行による本校の教育活動の啓発</p> <p>③ 土曜授業や学校公開の実施</p> <p>① 学校ホームページの充実</p>	<p>【達成状況】 保護者の肯定的回答 97.7%，地域住民の肯定的回答 100.0%で目標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 学校だより・学年だより等の定期的な発行や学校ホームページの記事の随時更新により、学校の新しい情報を積極的に発信していく。</p> <p>また、土曜授業・学校公開・保護者会等において授業参観を計画的に実施して学習の成果や生活の様子を積極的に公開する。</p>
<p>A 8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った学校づくりが推進されている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」 ⇒保護者・地域住民の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 中学生による地域活動への参加推進</p> <p>② P T Aによる生徒ボランティア引率の実施</p> <p>③ 魅力ある学校づくり地域協議会の活動推進</p>	<p>【達成状況】 保護者の肯定的回答 95.2%，地域住民の肯定的回答 100%で目標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 キャリア教育への生徒の意識を高めるため、外部講師等を積極的に活用する。</p> <p>また、特色ある学校づくりを推進するため、学校環境整備等において地域協議会との連携の充実を図る。</p>
<p>A 9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校は、荷物や備品が整理整頓されるなど、学習しやすい環境である」 ⇒保護者の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 美化週間や委員会活動の充実</p> <p>② P T A環境部との連携を図った環境美化活動の推進</p> <p>③ 施設・設備の点検と迅速な補修</p>	<p>【達成状況】 保護者の肯定的回答 95.5%で目標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 基礎・基本の定着を目指し、生徒の学習意欲喚起につながる備品の拡充や既存備品の有効活用に努める。</p> <p>また、迅速な点検・整備を心掛け、生徒・P T A・地域ボランティア連携による校舎内外の環境美化をさらに推進していく。</p>
<p>A 10 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「学校は小学校・中学校が連携した取組を主体的に行っている。」 ⇒教職員・保護者の肯定的回答 90%以上</p>	<p>「一人ひとりが自らの良さを自覚し、主体的に学ぶ児童生徒の育成」</p> <p>① 効果的な相互乗り入れ授業の実施</p> <p>② 各部会での共通課題の実践</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答 92.9%，保護者の肯定的回答 93.9%で目標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 小中の交流活動（あいさつ運動や南図書館除草作業）を継続して行い、多くの生徒たちが積極的に参加できるよう呼びかける。</p> <p>また、活動の様子を廊下に掲示したり、学校園だよりに掲載したりして、活動内容が生徒や保護者に伝わるようにする。</p>

	<p>A11 多様な専門性を有する学校スタッフの活用により、教員の業務が縮減されている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「多様な専門性を有する学校スタッフの活用により、教員の業務が縮減されている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 互いの専門性を生かした密な情報交換</p> <p>② 連携・協力体制の確立</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答は 66.7%で目標を達成することができなかった。</p> <p>【次年度の方針】 ケース会議を随時開催するなどして、多様な専門性を有する学校スタッフ（以下、学校スタッフと省略）と教職員が互いの専門性を生かした情報交換を行う。</p> <p>学校スタッフの活用により教職員の業務が縮減された事例を収集し、自校化を図る。</p> <p>教職員と学校スタッフが、生徒の支援について意識や方向性の共有を図ったうえで、役割分担について確認し合い、効果的な連携・協働体制を整備する。</p>
	<p>A12 教員は多様な専門性を有する学校スタッフと円滑なコミュニケーションが図れている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「教員は多様な専門性を有する学校スタッフと円滑なコミュニケーションが図れている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 互いの専門性の理解と尊重</p> <p>② 風通しの良い職場環境づくり</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答 88.1%で目標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 学校スタッフと教職員が相互理解を図るため、職員会議等を活用して、学校スタッフそれぞれの専門性や業務内容・形態などについて共通理解を図る。</p> <p>配慮を要する生徒について、学級担任は学校スタッフに積極的に情報提供・相談を行う。</p>
教育活動の状況	<p>A13 生徒は、進んであいさつをしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「生徒は、時と場に応じたあいさつをしている」 ⇒各対象者の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① あいさつ運動の実施と強化期間の設定</p> <p>② 地区内小学校と連携した朝の登校指導の実施 (あいさつ、声かけ)</p>	<p>【達成状況】 教職員・保護者・地域住民・生徒の肯定的回答は、それぞれ 92.9%、93.7%、94.4%、98.4%で目標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 今年度同様、あいさつ運動や地区内小学校と連携した朝の登校指導（あいさつ、声かけ）の実施など、生徒主体の活動を継続するとともに、PTAや地域との連携強化を図る。また、教師が率先垂範を心がける。</p>
	<p>A14 生徒は、正しい言葉づかいをしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「生徒は、大人に対して適切な言葉づかいをしている」 ⇒保護者・地域住民の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 時と場に応じた言葉づかいができるよう、日頃から授業や行事等の場面を生かした指導の充実</p>	<p>【達成状況】 保護者の肯定的回答 89.1%、地域住民の肯定的回答 100%で目標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 時と場に応じた言葉遣いが定着するように、学級活動や学校行事、「特別の教科 道徳」等において、その目的や必要性を生徒に理解させる指導を行っていく。</p> <p>さらに、日頃の生活の中で、その場その場での指導を教職員全員で徹底していく。</p>

健康・体力	<p>A15 生徒は、進んで運動する習慣を身に付けている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「生徒は、休み時間や放課後などに進んで運動している」 ⇒教職員・生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 昼休みの外遊びや運動部活動における積極的な取組の推進</p> <p>② 宇都宮元気っ子プロジェクトの推進</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答は 85.7%で目標を上回ったが、生徒の肯定的回答は 78.9%で目標を達成することができなかった。</p> <p>【次年度の方針】 生徒会保健体育委員会が中心となって、各学年の昇降口にボールかごを設置・管理し、昼休みに生徒たちが校庭で運動できる環境を整える。 また、球技大会を企画し、昼休みに運動する機会を増やす。</p>
	<p>A16 生徒は、栄養のバランスを考えて食事をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「生徒は、自分は好き嫌いなく給食を食べている」「自分の子供は、好き嫌いなく食事をしている」 ⇒教職員・保護者・生徒の肯定的回答各 80%以上</p>	<p>① 給食だより、お弁当の日や保護者会による保護者への啓発</p> <p>③ 栄養士、養護教諭が参画する食の指導の充実</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答は 82.7%で目標を上回ったが、教職員と保護者の肯定的回答はそれぞれ 73.8%と 78.8%であり目標を達成することができなかった。</p> <p>【次年度の方針】 保護者会や給食だよりで、食育についての理解と協力を呼びかける。 教職員の給食指導については、共通理解のもと指導ができるよう校内研修を実施する。</p>
	<p>B1 生徒は食後の歯みがきをしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「生徒は、給食後の歯みがきを必ずしている」 ⇒生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 給食後の歯みがきタイムの充実</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答は 95.6%で目標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 生徒会保健体育委員会が中心となって、衛生検査（歯みがき、ハンカチ、ツメ）を方法を工夫して実施する。 また、その活動内容について保護者会や保健だよりで各家庭に伝え、理解や協力をお願いする。</p>
学 習 等	<p>A17 生徒は、進んで学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「生徒は、授業中に進んで話し合うなど、積極的に学習している」「生徒は、進んで話し合い、分かりやすく発表するなど、積極的に学習している」 ⇒教職員・生徒の肯定的回答各 80%以上</p>	<p>① 生徒の側に立った授業の構想と展開（ねらいの明確化、授業展開の工夫、授業改善につながる評価）</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答 88.1%、生徒の肯定的回答 91.1%で目標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 より組織的に学力向上を図っていくため、教科部会を通して、本校の学力の実態を共有して到達目標を設定し、共通した指導上の工夫を各教科で検討・実践していく。 また、授業研究会等で一人一人の生徒の学ぶ意欲を喚起できる方策を探求し実践する。</p>

	<p>A18 生徒は、落ち着いて学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「生徒は、授業中に先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いて学習している」 ⇒教職員・保護者・生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 授業中での取り組み方のきまりや課題の与え方の工夫・改善を図ることによる、落ち着いた授業の実践</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答 95.2%, 保護者の肯定的回答 91.7%, 生徒の肯定的回答は 90.5%で目標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 「チャイムと共に授業開始・終わりのあいさつ」, 「学習用具の確実な準備」, 「話を聞く姿勢」など, 基本的な学習態度について継続して指導していく。</p>
	<p>B 2 家庭学習の習慣化をめざす。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「毎日家庭学習に取り組んでいる」 ⇒生徒の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 基礎学力向上を目指した, 家庭学習の習慣化</p> <p>② 家庭学習ノートの活用と確認</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答 96.5%で目標を上回った。家庭学習ノートの提出率については一定の成果を収めている。</p> <p>【次年度の方針】 その日の授業の復習を主眼とした内容充実を目指した今年度の取組を継続し, さらに能力に応じた目標設定と実施計画の立て方などについて個別の支援を充実させる。</p>
	<p>A19 生徒は、地域でのボランティア活動や行事に参加している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「生徒は、地域でのボランティア活動や行事に参加している。」 ⇒各対象者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 地域行事・地域活動への積極的な参加</p>	<p>【達成状況】 教職員・保護者・地域住民・生徒の肯定的回答は, それぞれ 100%, 92.8%, 100%, 90.9%で目標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 「地域とともに歩む学校」を目指し, 今後も地域の関係団体や自治会との連携のもと, 地域行事・地域活動へのボランティア参加を生徒に呼びかけていく。</p> <p>また, 引率等について, P T Aとの連携の在り方について検討する。</p>
<p>本校の特色・課題等</p>	<p>B 3 学校行事を通して、感動できる集団・学校づくりをめざす。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「雀中そーらんや合唱コンクールに精一杯取り組み、やりとげることができた」 ⇒生徒の肯定的回答 95%以上</p>	<p>① 全校生徒による雀中そーらんや合唱コンクールへの取り組み</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答 98.7%で目標を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 雀中そーらん・合唱コンクールともに本校の伝統行事である。</p> <p>今後も実行委員会形式による生徒主体の取組を展開し, 互いに認め, 励まし合うことを通して, 仲間と共によりよいものを創り出そうとする意識や, 目標に向かってあきらめず, 粘り強く努力するなどの豊かな心の醸成に努める。</p>

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

- ・全22項目中、20項目で目標指標を上回った（昨年度は19項目中15項目。今年度3項目が新たに追加された）。
- ・新たに追加されたA19「生徒は、地域でのボランティア活動や行事に参加している。」については、各対象者の肯定的回答率が、目標指標を上回った。本校では、これまでも地域貢献活動の一環として、すずめV.Gなどの関係団体と連携してボランティア活動に積極的に取り組んできており、生徒たちの意識が高い。また、学校だよりやホームページ等により、積極的に周知・広報を図ってきた成果であると思われる。
- ・新たに追加されたA11「多様な専門性を有する学校スタッフ(※)の活用により、教員の業務が縮減されている。」については、教職員の肯定的回答率は66.7%で目標指標を下回った。今後、教員と学校スタッフが役割分担について確認し合い、効果的な連携・協働体制を整備して教員の業務縮減につなげていきたい。
(※) ALT, スクールカウンセラー, メンタルサポーター, 学校図書館司書, かがやきルーム指導員など
- ・A4「教職員は、分かりやすい授業や一人一人へのきめ細かな指導をしている。」については、保護者の肯定的回答率が3年連続で上昇し、平成20年からの調査開始以来、最も高い数値となった。これは、学力の向上を目指し、教職員の研修会を定期的で開催したり、教職員間で授業を相互に参観するなどして、授業力の向上を図ってきた成果であると考えられる。
- ・A5「学校は、いじめ対策を積極的に公表し、熱心に取り組んでいる。」については、「保護者」の肯定的回答率がはじめて目標指数を上回った。これは、雀宮中学校いじめ防止基本方針の概要版を保護者に配付したり、いじめ根絶に向けた標語を生徒から募集・掲示したりするなど、広報活動の充実を図ったことによるものと考えられる。
- ・A16「生徒は、栄養のバランスを考えて食事をしている。」については、生徒の肯定的回答は82.7%で目標を上回った。教職員と保護者の肯定的回答はそれぞれ73.8%と78.8%であり目標を達成することができなかったが、各対象者の肯定的回答率はすべて前年度を上回り、特に、教職員の上昇率が高かった。これは、給食時に栄養教諭が各教室を巡回し、生徒に給食の内容を説明したり、担任とともに給食指導を行ったりしたことで、教職員の食育に関する意識が高まったことによるものと考えられる。
- ・A17「生徒は、授業中に進んで話し合い、分かりやすく発表するなど、積極的に学習している。」については、平成20年からの調査開始以来、最も高い数値となった。これは、全教科において、授業中、グループでの話し合い活動を積極的に取り入れ、発表するときは資料等を準備して分かりやすくなるよう工夫することを指導してきた成果であると考えている。
- ・A22「生徒は雀中そーらんや合唱コンクールなどの行事に精一杯取り組み、やり遂げる。」については、教職員・保護者・地域住民・生徒の肯定的回答率はすべて高い数値となっている。これらの学校行事を通して生徒たちは自信と誇り、愛校心を深めている。

6 学校関係者評価

- ・あいさつに関して教職員の評価が年々下がってきている。あいさつの徹底を図るためには、教職員の熱意が大切。特定の教員に頼るのではなく、全校体制で取り組んでほしい。
- ・A11については、働き方改革の柱は生徒であり、さじ加減が大切になってくる。取組を進めながら模索していけばよいのではないか。
- ・先生方の働き方改革にPTAも協力したい。
- ・めざす生徒像には、学力以外にも、「思いやり」や「心身を鍛える」があるので、これも目標規定に入れてはどうか。
- ・学習については、塾に頼らずとも受験に臨めるようになるのが親としての願い。学力向上に向けてより一層の指導をお願いしたい。
- ・学校外で、生徒が被害にあうケースがある。中学校も生徒からの情報提供があった場合には、すぐに警察に連絡してほしい。
- ・不登校やその傾向がある生徒に対して、地域で協力できる場合もある。
- ・中学生は、あいさつをよくしてくれる。また、地域の活動にも積極的に参加してくれる生徒が多いので大変助かっている。あいさつ運動で頑張ってもらいたいのは保護者だと思う。
- ・A16の改善については、小中学校が連携して実施している「食育ファイル」など、家庭との連携によるところが大きいのではないか。
- ・小学校フェスティバルに中学校の合唱部・吹奏楽部が参加してくれ、小学生の憧れの姿になっている。
- ・地域の清掃活動に保護者の方も参加してくれるようになってきた。
- ・先生方が疲れているのではないかと心配している。先生方の疲れを癒すことを考えてはどうだろうか。

- ・不登校が心配。家庭の問題が大きい気がする。
- ・食育の指導について、中学校が持っているノウハウを小学校でも活用できるよう協力していただきたい。
- ・小学校では、あいさつに関する保護者の肯定的回答率が低いので、中学校はすごいと思う。
- ・学校ボランティアとして関わっているが、ボランティア参加者への学校の対応がとても良い。
- ・あいさつは、怒られてやるのでは身に付かない。ななめ・横・縦の関係みんなできり組む必要がある。特に、家庭が中心となるだろう。
- ・小学校の朝の登校指導で、後ろから中学生にあいさつを掛けられ、すがすがしい気持ちになる。
- ・落ち着いた雀宮中学校の姿に、卒業生として驚きと感動を感じる。これらの取組を継続してほしい。
- ・各対象者の抽出人数を記載してもらおうとさらに判断しやすくなる。
- ・学校は落ち着いている。今後、リーダーの育成に努めてほしい（良い学校+αを目指してほしい）。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

今年度の評価は、全22項目中、20項目で目標指標を上回っており、取組の成果が着実に表れてきている。次年度は以下の取組を加え、一層強化していく。

- （1）学校運営 「業務改善の推進と地域の教育力の活用による、いきいきとした学校づくり」
 - ・業務改善の推進による、職員の勤務意欲の向上と生徒と向き合う時間の確保
 - 地域の教育力を生かした「地域とともに歩む学校」づくり
- （2）学習指導 「基礎的知識・技能を活用しながら、主体的に考え、表現できる生徒の育成」
 - 基礎・基本の確実な定着と、わかる授業・できる授業の実践
 - ・学習目標の明確化と振り返り活動の充実、及び「主体的・対話的で深い学び」の視点での指導法や授業形態の工夫による「思考力・判断力・表現力」の育成
- （3）生徒指導 「夢や希望に向かって挑戦する、たくましい生徒の育成」
 - 温かい人間関係のもとで、自分の良さを発揮しながらいきいきと活動できる生徒の育成
 - ・一人一人の良さを認め、励まし、称賛して自己肯定感・自己有用感を高める指導の充実と、互いに認め合い助け合う集団の形成による、いじめ・不登校等問題行動の未然防止
 - ・耐性（我慢する、あきらめない、くじけない）を育む指導の充実
- （4）健康（保健安全・食育）・体力（元気アップ教育に係る取組を含む）
 - 「食と健康に対する関心を深め、体力の向上を目指す生徒の育成」
 - 生涯を通じて健康なからだを維持していくための基盤づくり
 - ・健康と食の安全確保のための指導の充実と、体力の向上を目指すための工夫を凝らした教育活動の推進